

平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年10月27日

上場会社名 ブロードメディア株式会社
 コード番号 4347 URL <http://www.broadmedia.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 橋本 太郎
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部長 (氏名) 植村 保彦
 四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家向け)

TEL 03-6439-3725
 平成23年12月8日

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	5,692	△18.2	267	△46.3	339	△38.9	131	△64.5
23年3月期第2四半期	6,960	34.7	498	47.3	556	54.3	368	30.7

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 444百万円 (—%) 23年3月期第2四半期 23百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円銭	円銭
24年3月期第2四半期	1.99	—
23年3月期第2四半期	5.53	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	%	百万円	%	%	円銭
24年3月期第2四半期	10,683		7,135		62.4	102.13
23年3月期	9,676		6,771		65.8	96.62

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 6,666百万円 23年3月期 6,370百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
23年3月期	—	0.00	—	1.50	1.50
24年3月期	—	1.50	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	1.50	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円銭
通期	13,000	△6.7	700	18.6	750	△9.6	500	10.9	7.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期2Q	66,723,516 株	23年3月期	66,723,516 株
② 期末自己株式数	24年3月期2Q	1,454,332 株	23年3月期	790,232 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期2Q	65,713,128 株	23年3月期2Q	66,723,352 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続を実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的と判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因によって異なる可能性があります。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料4ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	4
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報（その他）に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要	5
4. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	8
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	9
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 継続企業の前提に関する注記	12
(5) セグメント情報等	12
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	13
(7) 重要な後発事象	13

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間における売上高は、前年同期と比べ1,268,467千円(18.2%)減少し、5,692,243千円(前年同期は6,960,710千円)となりました。「ネットワーク営業」の減収が主要要因です。

営業利益は、前年同期と比べ231,240千円(46.3%)減少し、267,672千円(前年同期は498,913千円)となりました。「放送」及び「技術」は増益となったものの、「コンテンツ」及び「ネットワーク営業」が減益となったことに加え、「スタジオ」が営業損失を計上したことが減益の要因です。

経常利益は、前年同期と比べ216,574千円(38.9%)減少し、339,926千円(前年同期は556,500千円)となりました。上記営業利益の減益が主要要因です。

四半期純利益は、前年同期と比べ237,754千円(64.5%)減少し、131,045千円(前年同期は368,800千円)となりました。繰延税金資産の増加に伴い税金費用が大幅に減少いたしました。経常利益の減益に加えて、投資有価証券売却損220,899千円を計上したため、四半期純利益は減益となりました。

[セグメント別事業内容(平成23年9月30日)]

セグメントの名称	事業内容	主な業務の内容	主な連結子会社
コンテンツ	ホームエンタテインメント	・テレビ向け動画配信サービス「T's TV レンタルビデオ」の提供 ・健康支援サービス「T's TV みんなのフィットネス」の運営	—
	映像サービス	・PC向け動画配信サービス「クラブビット・アリーナ」の提供	ハリウッドチャンネル(株)
	CS放送会員サービス	・CS放送視聴に関する独自の会員制サービス「Club iT」の運営	—
	モバイルサービス	・モバイル向けコンテンツ「ハリウッドチャンネル」「速報!ハリウッド★スクープ」「海外ドラマ★DX」等の企画・運営	ハリウッドチャンネル(株)
	教育サービス	・イーラーニングシステムを利用した単位制・通信制高校「ルネサンス高等学校」の運営	ルネサンス・アカデミー(株)
	その他サービス	・「ナショナルジオグラフィック」日本語版公式サイト等の運営等	—
放送	釣り専門チャンネル	・衛星一般放送事業「釣りビジョン」の番組制作、放送及び、ケーブルテレビ局等への番組供給	(株)釣りビジョン
スタジオ	制作事業	・日本語字幕制作、日本語吹替制作、文字放送字幕制作、番組宣伝制作	ブロードメディア・スタジオ(株)
	番組販売事業	・ハリウッド映画等のテレビ局への供給	
	映画配給事業	・劇場映画の配給、DVDの発売、テレビ放映権の販売	
技術	CDNサービス	・コンテンツを最適な形で配信するCDNサービスの提供	CDNソリューションズ(株)
	デジタルシネマサービス	・ブロードメディア®CDN for theaterの提供、及び上映システム的设计・販売	—
ネットワーク営業	ISPサービス販売	・「Yahoo! BB」ISPサービスの販売	—
	携帯電話サービスの取扱い	・「ソフトバンク・モバイル」の携帯電話サービスや携帯電話端末の取り扱い	—
	ブロードバンド回線販売	・ブロードバンド回線「Yahoo! BB」の販売	—
	その他	・その他商材の販売	—

当第2四半期連結累計期間における各セグメントごとの売上高及び営業利益の概況は、以下のとおりです。

①コンテンツ

「コンテンツ」セグメントは、ホームエンタテインメント、映像サービス、CS放送会員サービス、モバイルサービス、教育サービス及びその他サービスで構成されており、テレビ・PC向けの動画配信、モバイル向けのコンテンツ配信、CS放送視聴に関する独自の会員制サービス及び単位制・通信制高校に至るまでの広範な事業を行っております。

売上高は、前年同期と比べ1,877千円(0.2%)減少し、1,187,726千円(前年同期は1,189,603千円)となりました。CS放送会員サービス、PC向け動画配信サービスが減収となったものの、生徒数の増加等により教育サービスの売上高が好調に推移したことが主な要因となり前年同期と同水準となりました。

営業利益は、前年同期と比べ105,378千円(38.3%)減少し、169,707千円(前年同期は275,085千円)となりました。教育サービスが増益となったものの、ホームエンタテインメントのコンテンツの調達コストが増加したこと等が減益の主な要因です。

②放送

「放送」セグメントは、「釣りビジョン」の番組制作、放送及び、番組販売等を行っております。

売上高は、前年同期と比べ144,818千円(11.8%)増加し、1,375,372千円(前年同期は1,230,554千円)となりました。「釣りビジョン」の視聴可能世帯数の伸びが好調に推移していること等が増収の主な要因です。

営業利益は、前年同期と比べ42,931千円(52.4%)増加し、124,837千円(前年同期は81,905千円)となりました。増収となったことに加え、販売費及び一般管理費の削減を行ったことが増益の主な要因です。

③スタジオ

「スタジオ」セグメントは、映画やドラマ等の映像作品の調達、日本語字幕・吹替制作から、その作品の配給、販売を行っております。

売上高は、前年同期と比べ129,465千円(11.4%)減少し、1,003,211千円(前年同期は1,132,677千円)となりました。前年同期に寄与した大型作品の配給がなかったことが影響し、映画配給事業が減収となったこと等が減収の主な要因です。

営業利益は、73,671千円の営業損失(前年同期は13,098千円の営業利益)となりました。上記減収に加え、受注単価低下の影響等により、制作事業の収益が悪化したことが減益の主な要因です。

④技術

「技術」セグメントは、「ブロードメディア®CDN」等のCDN(コンテンツ・デリバリー・ネットワーク)サービス及びデジタルシネマサービスを行っております。

売上高は、前年同期と比べ40,147千円(8.8%)増加し、498,019千円(前年同期は457,871千円)となりました。CDNサービスは、顧客企業の経費削減等の影響による配信料収入の低下が続いているものの、前年同期には開始していなかったデジタルシネマサービスの売上高が順調に伸びてきていることが増収の要因です。

営業利益は、前年同期と比べ7,258千円(55.8%)増加し、20,270千円(前年同期は13,011千円)となりました。上記増収に加え、デジタルシネマサービスの立ち上げ準備費用等の販売費及び一般管理費を削減したことが増益の主な要因です。

⑤ネットワーク営業

「ネットワーク営業」セグメントは、ISPサービスや携帯電話サービス、ブロードバンド回線等の販売代理店として、通信回線販売業者等の事業者を通じて販売活動を行っております。

売上高は、前年同期と比べ1,322,090千円(44.8%)減少し、1,627,913千円(前年同期は2,950,003千円)となりました。前年同期に売上に大きく貢献したISPサービスの販売が減少したことが減収の主な要因です。

営業利益は、前年同期と比べ89,284千円(77.1%)減少し、26,528千円(前年同期は115,812千円)となりました。上記減収となったことが減益の主な要因です。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

①資産、負債及び純資産の状況

(イ) 資産

流動資産は、前連結会計年度末に比べて1,293,098千円増加し、7,566,015千円となりました。これは、現金及び預金が減少した一方で、短期貸付金や番組勘定が増加したこと等によります。固定資産は、前連結会計年度末に比べ285,482千円減少し、3,117,940千円となりました。リース資産の取得等により有形固定資産が増加いたしました。株式会社ゲームオンの株式を売却した結果、投資有価証券が減少したこと等により、固定資産は減少いたしました。これらの結果、総資産は、前連結会計年度末に比べ1,007,616千円増加し、10,683,956千円となりました。

(ロ) 負債

流動負債は、前連結会計年度末に比べて204,135千円増加し、2,705,687千円となりました。これは、未払法人税等が減少した一方、買掛金が増加したこと等によります。固定負債は、前連結会計年度末に比べて439,710千円増加し、842,709千円となりました。これは、長期リース債務が増加したこと等によります。これらの結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べ643,845千円増加し、3,548,396千円となりました。

(ハ) 純資産

当第2四半期連結累計期間において、四半期純利益131,045千円を計上いたしました。また、投資有価証券を売却したことにより、その他有価証券評価差額金が245,252千円増加いたしました。一方、定時株主総会決議による剰余金の配当98,899千円や取締役会決議による自己株式の取得87,780千円を実施いたしました。これらの結果、純資産合計は、前連結会計年度末に比べ363,770千円増加し、7,135,559千円となりました。これにより、当第2四半期連結累計期間末の自己資本比率は62.4%となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べて172,553千円減少し、2,773,448千円となりました。

(イ) 営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動によるキャッシュ・フローは、当第2四半期連結累計期間においてプラス75,953千円（前年同期はプラス594,659千円）となりました。コンテンツの調達により番組勘定等のたな卸資産が増加いたしました。税金等調整前四半期純利益115,566千円を計上したことに加え、支出を伴わない投資有価証券売却損219,343千円を計上した結果、営業活動によるキャッシュ・フローはプラスとなりました。

(ロ) 投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動によるキャッシュ・フローは、当第2四半期連結累計期間においてマイナス321,514千円（前年同期はマイナス509,185千円）となりました。これは、投資有価証券の売却による収入737,920千円があった一方、固定資産の取得による支出422,897千円や貸付による支出645,000千円があったこと等によるものです。

(ハ) 財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動によるキャッシュ・フローは、当第2四半期連結累計期間においてプラス79,377千円（前年同期はプラス8,246千円）となりました。これは、配当の支払97,690千円や自己株式の取得87,780千円を行ったことに加え、リース債務の返済54,288千円を行った一方で、セール・アンド・リースバック取引による収入319,136千円があったこと等によるものです。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

平成23年4月26日の決算発表時に公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

※ 上記の予想は、本資料の発表時現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる可能性があります。

特に下記要因により業績が異なる可能性があります。

- ・映画配給事業の売上が予想と異なる場合
- ・新規事業の進捗が見通しと異なる場合
- ・「ネットワーク営業」の進捗が見通しと異なる場合

2. サマリー情報（その他）に関する事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
該当事項はありません。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,996,501	2,923,947
受取手形及び売掛金	1,604,522	1,551,066
商品及び製品	13,266	14,580
仕掛品	91,665	100,285
原材料及び貯蔵品	28,498	16,999
番組勘定	991,284	1,400,634
その他	552,412	1,562,795
貸倒引当金	△5,235	△4,293
流動資産合計	6,272,917	7,566,015
固定資産		
有形固定資産	487,633	823,595
無形固定資産		
のれん	194,609	166,088
その他	450,840	447,113
無形固定資産合計	645,450	613,202
投資その他の資産		
投資有価証券	1,894,162	1,321,609
その他	377,519	364,904
貸倒引当金	△1,341	△5,370
投資その他の資産合計	2,270,339	1,681,142
固定資産合計	3,403,423	3,117,940
資産合計	9,676,340	10,683,956

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	858,445	1,065,120
短期借入金	36,000	36,000
未払法人税等	151,053	19,585
賞与引当金	107,626	104,800
その他	1,348,426	1,480,180
流動負債合計	2,501,551	2,705,687
固定負債		
退職給付引当金	56,465	61,445
役員退職慰労引当金	52,249	57,749
その他	294,284	723,514
固定負債合計	402,999	842,709
負債合計	2,904,550	3,548,396
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,666,633	2,666,633
資本剰余金	2,270,490	2,270,490
利益剰余金	1,840,974	1,978,845
自己株式	△135,017	△222,797
株主資本合計	6,643,081	6,693,172
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△272,372	△27,120
その他の包括利益累計額合計	△272,372	△27,120
少数株主持分	401,079	469,507
純資産合計	6,771,789	7,135,559
負債純資産合計	9,676,340	10,683,956

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
売上高	6,960,710	5,692,243
売上原価	4,578,282	3,606,631
売上総利益	2,382,428	2,085,611
販売費及び一般管理費	1,883,514	1,817,939
営業利益	498,913	267,672
営業外収益		
受取利息	1,242	3,756
受取配当金	7	55
為替差益	3,214	28,198
持分法による投資利益	69,929	78,049
その他	11,788	9,810
営業外収益合計	86,181	119,871
営業外費用		
支払利息	10,425	19,646
持分法による投資損失	12,245	11,886
出資金運用損	4,512	13,994
その他	1,412	2,090
営業外費用合計	28,595	47,617
経常利益	556,500	339,926
特別利益		
固定資産売却益	403	7
投資有価証券売却益	—	1,555
貸倒引当金戻入額	599	—
その他	0	—
特別利益合計	1,003	1,562
特別損失		
固定資産除却損	51	11
投資有価証券売却損	—	220,899
投資有価証券評価損	14,901	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	21,555	—
その他	170	5,012
特別損失合計	36,679	225,922
税金等調整前四半期純利益	520,824	115,566
法人税、住民税及び事業税	135,241	38,640
法人税等調整額	△19,400	△122,547
法人税等合計	115,841	△83,907
少数株主損益調整前四半期純利益	404,983	199,473
少数株主利益	36,182	68,427
四半期純利益	368,800	131,045

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	404,983	199,473
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△381,445	245,252
その他の包括利益合計	△381,445	245,252
四半期包括利益	23,538	444,725
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△12,644	376,297
少数株主に係る四半期包括利益	36,182	68,427

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	520,824	115,566
減価償却費	123,460	127,363
のれん償却額	25,737	28,521
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1,037	3,087
賞与引当金の増減額(△は減少)	2,479	△2,826
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△9,083	5,500
受取利息及び受取配当金	△1,250	△3,812
支払利息	10,425	19,646
持分法による投資損益(△は益)	△57,684	△66,162
固定資産除却損	51	11
投資有価証券売却損益(△は益)	—	219,343
投資有価証券評価損益(△は益)	14,901	—
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	21,555	—
売上債権の増減額(△は増加)	△255,856	53,456
たな卸資産の増減額(△は増加)	44,377	△407,784
仕入債務の増減額(△は減少)	382,400	206,674
未払又は未収消費税等の増減額	16,927	△41,045
その他の資産・負債の増減額	△176,109	△32,465
その他	892	13,112
小計	665,087	238,185
利息及び配当金の受取額	21,555	27,230
利息の支払額	△10,466	△19,073
法人税等の支払額	△81,517	△170,388
営業活動によるキャッシュ・フロー	594,659	75,953
投資活動によるキャッシュ・フロー		
固定資産の取得による支出	△301,662	△422,897
固定資産の売却による収入	170	193,769
投資有価証券の取得による支出	△59,000	—
投資有価証券の売却による収入	—	737,920
子会社の清算による支出	△13,194	—
子会社株式の取得による支出	△135,766	—
定期預金の純増減額(△は増加)	—	△100,000
貸付けによる支出	—	△645,000
貸付金の回収による収入	1,222	635
金銭債権信託受益権の取得による支出	—	△99,523
差入保証金の差入による支出	△1,455	△5,851
差入保証金の回収による収入	500	21,032
その他	△0	△1,600
投資活動によるキャッシュ・フロー	△509,185	△321,514

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	30,000	—
自己株式の取得による支出	△20	△87,780
配当金の支払額	△60	△97,690
セールアンドリースバックによる収入	24,041	319,136
リース債務の返済による支出	△45,713	△54,288
財務活動によるキャッシュ・フロー	8,246	79,377
現金及び現金同等物に係る換算差額	△109	△6,370
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	93,610	△172,553
現金及び現金同等物の期首残高	2,602,103	2,946,002
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,695,714	2,773,448

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報等

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成22年4月1日至平成22年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					合計
	コンテンツ	放送	スタジオ	技術	ネットワーク 営業	
売上高						
外部顧客に対する売上高	1,189,603	1,230,554	1,132,677	457,871	2,950,003	6,960,710
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,189,603	1,230,554	1,132,677	457,871	2,950,003	6,960,710
セグメント利益	275,085	81,905	13,098	13,011	115,812	498,913

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容
(差異調整に関する事項)

報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書の営業利益に計上した額は一致しており、記載すべき事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

当第2四半期連結累計期間において、「放送」セグメントにおいて、株式会社釣りビジョンの株式を追加取得したことにより、のれんを追加計上しております。当該事象によるのれんの増加額は、75,106千円であります。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					合計
	コンテンツ	放送	スタジオ	技術	ネットワーク 営業	
売上高						
外部顧客に対する売上高	1,187,726	1,375,372	1,003,211	498,019	1,627,913	5,692,243
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,187,726	1,375,372	1,003,211	498,019	1,627,913	5,692,243
セグメント利益又は損失(△)	169,707	124,837	△73,671	20,270	26,528	267,672

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容

(差異調整に関する事項)

報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書の営業利益に計上した額は一致しており、記載すべき事項はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

(7) 重要な後発事象

該当事項はありません。